

ワンタイムパスワード認証

PassLogic

PassLogic 認証サーバ API ガイド Ver.3.6

本書について

本書は、PassLogic 認証サーバソフトウェア API ガイドです。

表示画面

表示画面などは、操作の一例として掲載しているため、実際に表示される画面とは異なる場合もあります。

商標について

- ・ PassLogic およびパスロジは、パスロジ株式会社の登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ 本製品は医療機器、原子力施設、航空関連機器、軍備機器、輸送設備やその他人命に直接関わる施設や設備など、高い安全性が要求される用途での使用は意図されていません。該当する施設や設備には使用しないでください。

版權/注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で複写転載することを禁じます。
- ・ 本書に掲載の内容及び製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。
- ・ 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1. はじめに	- 4 -
2. 著作権の表示	- 4 -
3. 利用可能文字種、文字列長について	- 5 -
4. ユーザ用機能	- 5 -
4.1. 乱数取得	- 5 -
4.2. 認証機能	- 7 -
4.3. パスワード位置情報のクリア	- 9 -
4.4. ユーザ自身によるパスワード位置情報変更	- 11 -
5. 管理用機能	- 21 -
5.1. ユーザ新規追加	- 21 -
5.2. ユーザ強制削除	- 23 -
5.3. ユーザ情報取得	- 25 -
5.4. ユーザ情報書込	- 27 -
5.5. ユーザロック	- 29 -
5.6. ユーザロック解除	- 31 -
5.7. ロックされているユーザー一覧	- 32 -
5.8. パスワード位置情報のリセット	- 34 -
5.9. デバイス ID 新規追加	- 35 -
5.10. デバイス ID 削除	- 38 -
5.11. デバイス ID 情報取得	- 39 -
5.12. デバイス情報書き込み	- 41 -
5.13. 登録用メール送信	- 43 -
5.14. PassLogic 設定読み込み	- 45 -
5.15. PassLogic 設定書き込み	- 48 -
6. パスロジ	- 49 -

1. はじめに

このプログラムは HTTP プロトコルにより、各種操作を行う API を提供します。GET または POST で所定のパラメータを送信すると、指定操作を実行し、結果を XML で返答します。

(1) 送信パラメータ

送信パラメータは、URL エンコードを実施して下さい。HTTP の送受信でデータが変化することがあります。日本語文字コードは UTF-8 を使用して下さい。

また、送信パラメータに

`pid=<適当な文字列やコード>`

を追加すると、HTTP の返答で、このパラメータの文字列をそのまま表示します。(拡張)署名等でサーバをチェックする場合や、自動処理をする場合に有効です。

(2) 受信テキスト

<PassLogic:Response></PassLogic:Response>以外の xml による出力項目は、ハッシュをそのまま表示しているため、表示の順序はこの文書の通りでない場合があります。

表示されるデータは、次の 5 つの記号以外エンコードもエスケープもしていません。

「<」 --> 「<」、 「>」 --> 「>」、 「&」 --> 「&」

「”」 --> 「"」、 「'」 --> 「'」、

ユーザーに対して表示する部分は、セキュリティを考慮してエスケープして下さい。日本語文字コードは UTF-8 です。

受信テキストの具体例は、以下項目毎に記述します。

2. 著作権の表示

本仕様書のユーザ用機能で提供するすべての API については、提供ソフトウェアの知的財産権表示や商標は利用者に見える形で必ず表示をお願いいたします。

例

`Secured by PassLogic`

3. 利用可能文字種、文字列長について

パラメータ	文字種	文字列長
ユーザ ID	A-Z,a-z,0-9 と記号 (ハイフン (-) アンダーバー (_) ピリオド (.) アットマーク (@) のみ)	2 文字以上 80 文字以内。
デバイス ID	A-Z,a-z,0-9 と記号 (ハイフン (-) アンダーバー (_) ピリオド (.) アットマーク (@) のみ)	1 文字以上 80 文字以内。
グループ名	A-Z,a-z,0-9 のみ	
認証ボックス番号 (サービス識別番号)	0-9 のみ	4 桁以上 250 桁以下

※英数字以外の記号は URL エンコード(%<16 進>)して下さい。

4. ユーザ用機能

4.1. 乱数取得

URL : `http://<SERVER_NAME>/passlogic/fa/api.cgi`

送信パラメータ

mode	keyreqslso
id	利用者のパスロジックデバイス ID
kn	認証ボックス番号 (サービス識別番号)
utn	携帯電話の個体番号 又は 乱数取得用 Cookie

*認証ボックス番号は 9002 (kn=9002) をお使いください。パスワードの変更が必要な際の乱数表の取得時には kn=9003 にして乱数表を取得して下さい。

※utn として、以下の値を送信します：

デバイスタイプが slso の場合は、環境変数 HTTP_USER_AGENT と HTTP_X_UP_SUBNO の値を以下のように合成します：

utn=UA:<HTTP_USER_AGENT 文字列>_SN:< HTTP_X_UP_SUBNO 文字列>

デバイスタイプが hyper の場合は、環境変数 HTTP_COOKIE の中の、クッキー名

HYPERNEXT<デバイス ID>とその値を以下のように合成します：

utn=HYPERNEXT<デバイス ID>=<クッキーの値>

※送信パラメータは、URL エンコードを実施して下さい。例：セミコロン(;)は%3b など

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030101</code>
  <comment>乱数表示(SLSO)</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <RAND>
      <rand1>9615398030218548</rand1>
      <rand2>6532410618476095</rand2>
      <rand3>8790277759633212</rand3>
    </RAND>
    <cookie></cookie>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
    <title>Passlogic 認証</title>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620180822</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

※表示される乱数は、毎回異なります。

※<cookie></cookie>の中に、次回乱数表取得用の Cookie の値が表示されます。デバイスタイプが normal 又は slso の場合は、乱数取得用の Cookie は必要ないので、<cookie></cookie>の中は空文字です。

※<uid></uid>の中に、デバイスを所有するユーザ ID が表示されます。

=失敗例=

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030111</code>
  <comment>認証ボックスが見つかりません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data></data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620181235</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21030101	OK	乱数生成
21030111	NG	認証ボックスが見つかりません。
21030112	NG	アカウントがロックされているため乱数表を取得できませんでした。
21030113	NG	ユーザ情報が不正です。
21030115	NG	パスワード変更が必要です。
21030116	NG	有効期限切れです。
21030117	NG	パラメータが正常ではありません。
21030118	OK	ダミー乱数表示
21030119	NG	利用が許可されていません。
21030199	NG	システムエラーです。

「21030112NG ロックされています。」のエラーは、ユーザがロックされている場合に表示されます。この場合、ユーザは乱数を取得することができません。ロックされるのはユーザが規定回数以上認証に失敗した場合、または管理者が当該ユーザをロックした場合です。

4.2. 認証機能

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/box/api.cgi

送信パラメータ

mode	try
uid	ユーザ名

PassLogic 認証サーバ API ガイド

pass	ワンタイムパスワード
kn	認証ボックス番号（サービス識別番号）

*認証ボックス番号は 9002（kn=9002）をお使いください。パスワードの変更が必要な際の乱数表の取得時には kn=9003 にして乱数表を取得して下さい。

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <ptime>20100525204812</ptime>
  <data>
    <param1>1</param1>
    <param2>2</param2>
    <param3>3</param3>
    <param4>4</param4>
    <param5>5</param5>
    <param6>6</param6>
    <param7>7</param7>
    <param8>8</param8>
    <param9>9</param9>
    <param10>10</param10>
    <apppassword>app</apppassword>
  </data>
  <code>21040101</code>
  <loglevel>notice</loglevel>
  <status>OK</status>
  <comment>認証 OK</comment>
  <comment_en />
  <pid />
</PassLogic:Response>
=失敗例=
```

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
```



```
<code>21040111</code>
<comment>パスワードが不正解です。</comment>
<copyright>Secured by PassLogic</copyright>
<data></data>
<pid></pid>
<ptime>20060620185056</ptime>
<status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21040101	OK	認証 OK
21040111	NG	ユーザ名 または パスワードが違います。
21040112	NG	ユーザは、このサービスを利用できるグループに含まれていません。
21040113	NG	デバイス I D のレベルが、このサービスを利用できるレベルに達していません。
21040114	NG	乱数表が有効期限切れです。
21040118	NG	存在しない認証ボックス番号。
21040119	NG	入力データが不正です。

4.3. パスワード位置情報のクリア

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/fa/api.cgi

パスロジック方式は、当該サービス用の乱数を発行すると同時に正解を生成します。正解を生成した後で当該サービスへのログインを取りやめる場合、この A P I を使って正解を消去できます。正解を消去しなくても規定時間以上放置された乱数(すなわち正解)は自動的に無効になります。

送信パラメータ

mode	keycanslso
id	利用者のパスロジックデバイス ID
kn	認証ボックス番号 (サービス識別番号)
utn	携帯電話の個体番号 又は 乱数取得用 Cookie

※utn として、以下の値を送信します：

デバイスタイプが **slso** の場合は、環境変数 **HTTP_USER_AGENT** と **HTTP_X_UP_SUBNO** の値を以下のように合成します：

utn=UA:<HTTP_USER_AGENT 文字列>_SN:< HTTP_X_UP_SUBNO 文字列>

デバイスタイプが **hype** の場合は、環境変数 **HTTP_COOKIE** の中の、クッキー名 **HYPERNEXT<デバイス ID>**とその値を以下のように合成します：

utn=HYPERNEXT<デバイス ID>=<クッキーの値>

デバイスタイプが **normal** の場合は、**utn** の値は空文字です。

※送信パラメータは、URL エンコードを実施して下さい。例：セミコロン(;)は%3b など

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

```
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
```

```
  <code>21030201</code>
```

```
  <comment>キャンセルしました。</comment>
```

```
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
```

```
  <data>
```

```
    <cookie></cookie>
```

```
    <kn>9005</kn>
```

```
    <disptype>window</disptype>
```

```
    <title>9005</title>
```

```
  </data>
```

```
  <pid></pid>
```

```
  <ptime>20060620181928</ptime>
```

```
  <status>OK</status>
```

```
</PassLogic:Response>
```

※<cookie></cookie>の中に、次回乱数表取得用の **Cookie** の値が表示されます。デバイスタイプが **normal** 又は **slso** の場合は、乱数取得用の **Cookie** は必要ないので、<cookie></cookie>の中は空文字です。

※<uid></uid>の中に、デバイスを所有するユーザ ID が表示されます。

=失敗例=

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030211</code>
  <comment>認証ボックスが見つかりません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data></data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620182044</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

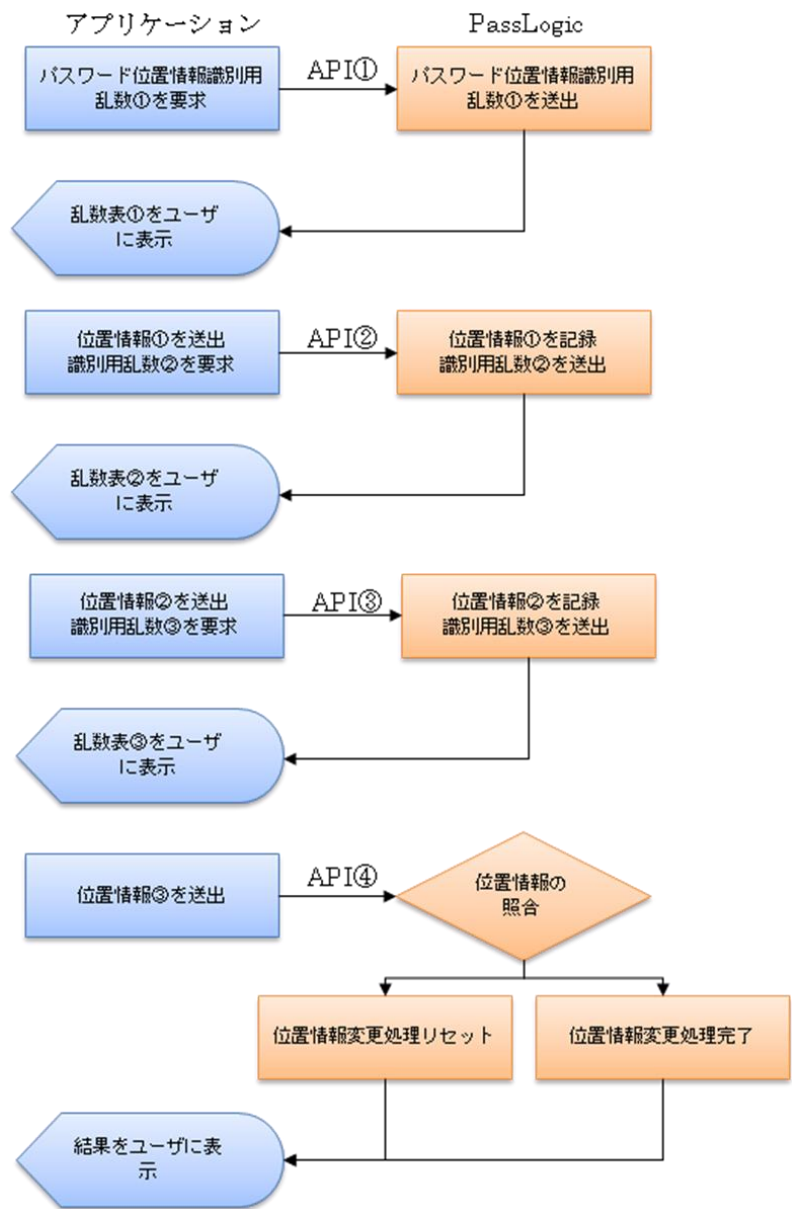
ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21030201	OK	キャンセルしました。
21030211	NG	認証ボックスが見つかりません。
21030213	NG	ユーザ情報が不正です。
21030299	NG	システムエラーです。

4.4. ユーザ自身によるパスワード位置情報変更

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/fa/api.cgi

※重要 : API を使ってユーザのパスワード変更をする場合には、必ずユーザが認証を終えた状態でパスワード変更するフローにしてください。



API①: パスワード位置情報選定用乱数①を要求

送信パラメータ

mode	chgpas
paset	seta
id	パスロジックデバイス ID

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030301</code>
  <comment>OK</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <RAND>
      <rand1>2360976454793811</rand1>
      <rand2>2858079712100373</rand2>
      <rand3>5505845417366051</rand3>
    </RAND>
    <pl_cookie>375068455656836096</pl_cookie>
    <status>01</status>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060621173552</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030316</code>
  <comment>システムエラーです。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data></data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060621173552</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

PassLogic 認証サーバ API ガイド

<code>	<status>	<comment>
21030301	OK	パスワード変更が正常に推移しています。
21030316	NG	入力データが不正です。

API②：位置情報①を送出。パスワード位置情報選定用乱数②を要求。

送信パラメータ

mode	chgpas
paset	setb
id	パスロジックデバイス ID
pl_cookie	セッション I D ①
pl_pos	変数②

受信テキスト

= 成功例 =

変数②= ” CANCEL ” の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030302</code>
  <comment>キャンセルしました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <status>02</status>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620183444</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

変数②= ” CANCEL ” 以外の英数字文字列>の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030301</code>
  <comment>OK</comment>
```

```
<copyright>Secured by PassLogic</copyright>
<data>
  <RAND>
    <rand1>4857097379482946</rand1>
    <rand2>8481682035282926</rand2>
    <rand3>1352229576719945</rand3>
  </RAND>
  <pl_cookie>375087488953704896</pl_cookie>
  <status>01</status>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060621173911</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030311</code>
  <comment>セッション ID が違います。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <pl_cookie>37506832287836096</pl_cookie>
    <status>11</status>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060621175505</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21030301	OK	パスワード変更が正常に推移しています。
21030302	OK	キャンセルしました。
21030311	NG	セッション ID が違います。もう一度最初からお願いいた

		します。
21030312	NG	パスワード位置情報指定に英数字以外の文字が含まれています。
21030313	NG	パスワード位置情報の桁数を適切にしてください。
21030399	NG	システムエラーです。

API③：位置情報②を送出。確認用乱数を要求。

送信パラメータ

mode	chgpas
paset	setc
id	パスロジックデバイス ID
pl_cookie	セッション I D②
pl_pos	変数③

受信テキスト

= 成功例 =

変数②= ” CANCEL ” の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

```
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
```

```
  <code>21030302</code>
```

```
  <comment>キャンセルしました。</comment>
```

```
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
```

```
  <data>
```

```
    <status>02</status>
```

```
  </data>
```

```
  <pid></pid>
```

```
  <ptime>20060620183444</ptime>
```

```
  <status>OK</status>
```

```
</PassLogic:Response>
```

変数②= ” CANCEL ” 以外の英数字文字列>の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```

```
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
```



```
<code>21030301</code>
<comment>OK</comment>
<copyright>Secured by PassLogic</copyright>
<data>
  <RAND>
    <rand1>4857097379482946</rand1>
    <rand2>8481682035282926</rand2>
    <rand3>1352229576719945</rand3>
  </RAND>
  <pl_cookie>375087488953704896</pl_cookie>
  <status>01</status>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060621173911</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030311</code>
  <comment>セッション I D が違います。 </comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <pl_cookie>37506832287836096</pl_cookie>
    <status>11</status>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060621175505</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

※失敗の場合は、受け取った<セッション I D ②>をそのまま<pl_cookie></pl_cookie>の中に入れて返します。

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21030301	OK	パスワード変更が正常に推移しています。
21030302	OK	キャンセルしました。
21030311	NG	セッション ID が違います。もう一度最初からお願いいたします。
21030312	NG	パスワード位置情報指定に英数字以外の文字が含まれています。
21030313	NG	パスワード位置情報の桁数を適切にしてください。
21030314	NG	位置が特定できませんでした。ご確認のうえ、もう一度やりなおしてください。
21030316	NG	入力データが不正です。
21030317	NG	過去に設定された位置への変更はできません。別の位置を設定してください。
21030320	NG	その位置は禁止されています。別の位置を設定してください。
21030321	NG	パスワード位置情報の変更は許可されていません。
21030399	NG	システムエラーです。

※「21030314NG パスワード位置情報が特定できません。」のエラーは、 1 度目と 2 度目の設定位置が異なる場合に表示されます。

※「21030317NG 以前に設定されたことがあるパスワード位置情報と同じです。」のエラーは、パスワード位置情報変更によって設定された過去のパスワード位置情報の最新の n 回分の履歴と、新しく設定しようとしているパスワード位置情報を照合し、同じ位置である場合に表示されます。N=0 に設定されている場合は、パスワード位置情報の履歴を取らず、照合もしません。

API④：新パスワード位置情報パスワードを送出

送信パラメータ

mode	chgpas
paset	setw
id	パスロジックデバイス ID
pl_cookie	セッション I D③
pl_pos	変数④

受信テキスト

= 成功例 =

変数②= ” CANCEL ” の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030302</code>
  <comment>キャンセルしました。 </comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <status>02</status>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620183444</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

変数④が正解の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030301</code>
  <comment>OK</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <status>01</status>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060621174834</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21030311</code>
```

<comment>セッション I Dが違います。</comment>

<copyright>Secured by PassLogic</copyright>

<data>

<pl_cookie>37506832287836096</pl_cookie>

<status>11</status>

</data>

<pid></pid>

<ptime>20060621175505</ptime>

<status>NG</status>

</PassLogic:Response>

※失敗の場合は、受け取った<セッション I D②>をそのまま<pl_cookie></pl_cookie>の中に入れて返します。

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21030303	OK	パスワード変更が正常に終了しました。
21030302	OK	キャンセルしました。
21030311	NG	セッション ID が違います。もう一度最初からお願いいたします。
21030315	NG	パスワードが不正解です。
21030399	NG	システムエラーです。

5. 管理用機能

5.1. ユーザ新規追加

URL : `http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi`

送信パラメータ

mode	usercreate
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用
ucomment	コメント欄 (デフォルト値は指定なし (空文字))
udefpass	デフォルトパスワード位置情報
defpass_rnd	パスワード位置情報をランダムにする場合桁数を入力します。
uemail	ユーザのメールアドレス (デフォルト値は指定なし (空文字))
uexpiry	ユーザ ID の有効期限 (デフォルト値は指定なし (空文字))
ugroup	ユーザが属するグループ名 (デフォルト値は指定なし (空文字))
uname	ユーザの実名 (デフォルト値は指定なし (空文字))
upasschgforced	初回パスワード強制変更設定 Y 又は N
disabled	ユーザの有効/無効設定 “active” 又は “inactive”
apppassword	WebSSO 機能使用時、バックエンドサーバに使用するパスワード (デフォルト値は指定なし (空文字))
param1	パラメータ 1 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param2	パラメータ 2 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param3	パラメータ 3 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param4	パラメータ 4 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param5	パラメータ 5 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param6	パラメータ 6 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param7	パラメータ 7 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param8	パラメータ 8 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param9	パラメータ 9 (デフォルト値は指定なし (空文字))
param10	パラメータ 10 (デフォルト値は指定なし (空文字))

※利用可能文字種、文字列長については、「3. 利用可能文字種、文字列長について」を参照してください。

※パスワード位置情報の指定は、(4x4)x3 升目のうち、どの位置をどの順番で選択するかを指定

します。

1	2	3	4	17	18	19	20	33	34	35	36
5	6	7	8	21	22	23	24	37	38	39	40
9	10	11	12	25	26	27	28	41	42	43	44
13	14	15	16	29	30	31	32	45	46	47	48

たとえば一番右端の縦 4 つを上から順番に抜き出す設定にするときは、`udefpass=36,40,44,48` と、コンマで区切って指定します。固定パスワード(たとえば 99)を、たとえば 3 つ目と 4 つ目の抜き出し数字の間に入れたい場合は、`udefpass=36,40,44,F99,48` と、コンマで区切って指定します。

※ユーザ ID の有効期限は、年月日の数字を羅列します。例えば 2010 年 3 月 31 日の場合は 20100331 と記述してください。

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020101</code>
  <comment>ユーザを新規作成しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <ucomment>グループリーダー</ucomment>
    <udefpass>1,2,3,4,17,18</udefpass>
    <uemail>passlogy_hanako@passlogy.com</uemail>
    <uent>20060620160101</uent>
    <uexpiry>20100620</uexpiry>
    <ugroup>system</ugroup>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
    <umsize>12x4</umsize>
    <uname>パスロジ花子</uname>
    <upasschged>N</upasschged>
```

```
<upasschgforced>Y</upasschgforced>
<apppassword>password</apppassword>
<version></version>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060620143631</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020111</code>
  <comment>すでにユーザが存在します。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620143820</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020101	OK	ユーザを新規作成しました。
21020111	NG	すでにユーザが存在します。
21020112	NG	入力データが不正です。
21020199	NG	システムエラーです。

5.2. ユーザ強制削除

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

PassLogic 認証サーバ API ガイド

mode	useraccdel
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020201</code>
  <comment>ユーザを削除しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620145706</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

=失敗例=

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020211</code>
  <comment>すでにユーザが存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620145950</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020201	OK	ユーザを削除しました。
21020211	NG	ユーザが存在しません。
21020299	NG	システムエラーです。

※ステータスコード 21022211, 21022212 は、デバイス I D の削除に失敗した場合に表示されます。

5.3. ユーザ情報取得

URL : `http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi`

送信パラメータ

mode	userread
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020301</code>
  <comment>情報取得に成功しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <device>
      <devid>221136656930</devid>
      <level>10</level>
      <type>normal</type>
    </device>
    <device>
      <devid>698232364323</devid>
      <level>50</level>
      <type>hyper</type>
    </device>
    <devices>2</devices>
  </data>
</PassLogic:Response>
```

```
<lock>1150792903</lock>
<ucomment>グループリーダー</ucomment>
<udefpass>1,2,3,4,17,18</udefpass>
<uemail>passlogy_hanako@passlogy.com</uemail>
<uent>20060620160101</uent>
<uexpiry>20100620</uexpiry>
<ugroup>system</ugroup>
<uid>passlogy_hanako</uid>
<umsize>12x4</umsize>
<uname>パスロジ花子</uname>
<upasschged>N</upasschged>
<upasschgforced>Y</upasschgforced>
<apppassword>password</apppassword>
<version></version>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060620163008</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020311</code>
  <comment>ユーザが存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_taro</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620165602</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

※読み出したユーザの情報が<data></data>の中に表示されます。

ユーザがロックされている時には、<lock>xxxx</lock>の項目が表示されます。ロックされていない時には、<lock>xxxx</lock>の項目は表示されません。

<device></device>の中には、デバイス ID の情報が表示されます。

上記の例

```
<devid>221136656930</devid>
```

```
<level>10</level>
```

```
<type>normal</type>
```

では、

デバイス ID が 221136656930

そのデバイス ID のデバイスタイプが normal

そのデバイス ID のデバイスレベルが 10

です。

<devices></devices>の中には、当該ユーザのデバイス ID の個数が表示されます。

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020301	OK	情報取得に成功しました。
21020311	NG	ユーザが存在しません。
21020399	NG	システムエラーです。

5.4. ユーザ情報書込

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	userwrite
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用
ucomment	コメント欄 (デフォルト値は指定なし (空文字))
udefpass	デフォルトパスワード位置情報
uemail	ユーザのメールアドレス (デフォルト値は指定なし (空文字))
uexpiry	ユーザ ID の有効期限 (デフォルト値は指定なし (空文字))
ugroup	ユーザが属するグループ名 (デフォルト値は指定なし (空文字))
uname	ユーザの実名 (デフォルト値は指定なし (空文字))
upasschgforced	初回パスワード強制変更設定 Y 又は N

PassLogic 認証サーバ API ガイド

disabled	ユーザの有効／無効設定 “active” 又は “inactive”
apppassword	WebSSO 機能使用時、バックエンドサーバに使用するパスワード（デフォルト値は指定なし（空文字））
param1	パラメータ 1（デフォルト値は指定なし（空文字））
param2	パラメータ 2（デフォルト値は指定なし（空文字））
param3	パラメータ 3（デフォルト値は指定なし（空文字））
param4	パラメータ 4（デフォルト値は指定なし（空文字））
param5	パラメータ 5（デフォルト値は指定なし（空文字））
param6	パラメータ 6（デフォルト値は指定なし（空文字））
param7	パラメータ 7（デフォルト値は指定なし（空文字））
param8	パラメータ 8（デフォルト値は指定なし（空文字））
param9	パラメータ 9（デフォルト値は指定なし（空文字））
param10	パラメータ 10（デフォルト値は指定なし（空文字））

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020401</code>
  <comment>書き込みを完了しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <ucomment>グループリーダー</ucomment>
    <udefpass>1,2,3,4</udefpass>
    <uemail>passlogy_hanako@passlogy.com</uemail>
    <uent>20060620160101</uent>
    <uexpiry>20100620</uexpiry>
    <ugroup>system</ugroup>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
    <umsize>12x4</umsize>
    <uname>パスロジ花子</uname>
    <upasschged>N</upasschged>
    <upasschgforced>Y</upasschgforced>
    <version></version>
    <apppassword>password</apppassword>
```

```
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060620160114</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020411</code>
  <comment>ユーザが存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_taro</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620161418</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020401	OK	書き込みを完了しました。
21020411	NG	ユーザが存在しません。
21020412	NG	不正な設定です。
21020499	NG	システムエラーです。

5.5. ユーザロック

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	userlock
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020501</code>
  <comment>ロックしました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620173505</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020502</code>
  <comment>すでにロックされています。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620173225</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020501	OK	ロックしました。
21020502	OK	すでにロックされています。

21020511	NG	ユーザが存在しません。
21020599	NG	システムエラーです。

5.6. ユーザロック解除

URL : `http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi`

送信パラメータ

mode	userunlock
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020601</code>
  <comment>ロックを解除しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620173505</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

=失敗例=

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020602</code>
  <comment>すでにロックされていません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
```

```
<uid>passlogy_hanako</uid>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060620173225</ptime>
<status> NG </status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020601	OK	ロックを解除しました。
21020602	NG	ロックされていません。
21020611	NG	ユーザが存在しません。
21020612	NG	パラメータが正常ではありません。
21020699	NG	システムエラーです。

5.7. ロックされているユーザー一覧

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	lockedlist
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <status>OK</status>
  <code>21020801</code>
  <comment>情報取得に成功しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <ptime>20080728133454</ptime>
  <pid></pid>
  <data>
    <lockedusers>1</lockedusers>
```



```
<user>
  <upasschgforced></upasschgforced>
  <uname></uname>
  <uid>passlogy_hanako</uid>
  <lock>1216094326</lock>
  <version></version>
  <udeypass></udeypass>
  <ugroup></ugroup>
  <umsize>12x4</umsize>
  <device>
    <acomment></acomment>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
    <aemail></aemail>
    <atype>slso</atype>
    <entryserver>http://<SERVER NAME>/<PATH></entryserver>
    <accnum>slso@passlogy_hanako</accnum>
    <alevel>90</alevel>
    <aname></aname>
  </device>
  <uexpiry></uexpiry>
  <uemail></uemail>
  <devices>1</devices>
  <upasschged>N</upasschged>
  <ucomment></ucomment>
  <uent>20080715125654</uent>
</user>
</data>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21020899</code>
  <comment>システムエラーです。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
```

```
<data>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060620173225</ptime>
<status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21020801	OK	情報取得に成功しました。
21020802	OK	ユーザが存在しません。
21020899	NG	システムエラーです。

5.8. パスワード位置情報のリセット

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	passreset
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

※パスワード位置情報のリセットは、ユーザが自身で変更した現在のパスワード位置情報を、ユーザのデフォルトパスワード位置情報に戻す操作です。

ユーザの現在のパスワード位置情報を任意の位置に変更するには、「4-4. ユーザ情報書込」の項を参照のうえ、**udfpasswd** に任意のデフォルトパスワード位置情報を設定後、パスワード位置情報のリセットを実施します。

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21021101</code>
  <comment>パスワードをリセットしました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
```

```
<data>
  <uid>passlogy_hanako</uid>
</data>
<pid></pid>
<ptime>20060620171754</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21021111</code>
  <comment>ユーザが存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_jiro</uid>
  </data>
  <pid></pid>
  <ptime>20060620171718</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21021101	OK	パスワードをリセットしました。
21021111	NG	ユーザが存在しません。
21021199	NG	システムエラーです。

5.9. デバイス ID 新規追加

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	accnew
uid	パスロジックユーザ ID

suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用
accnum	パソロジックデバイス ID (デフォルト値は 12 桁の乱数)
acookieexpiry	デバイスタイプが hyper のときの、乱数取得用クッキーの有効期限 (デフォルト値は指定なし (空文字))
aemail	デバイス ID のメールアドレス (デフォルト値は指定なし (空文字))
aexpiry	デバイス ID の有効期限 (デフォルト値は指定なし (空文字))
atype	デバイスのタイプ
alevel	デバイスのレベル (0 以上 99 以下の整数。デフォルト値はデバイスタイプによる。)
aname	デバイス ID の名前 (デフォルト値は指定なし (空文字))
acomment	コメント欄 (デフォルト値は指定なし (空文字))
aentryserver	ユーザがアクセスするサーバー (ex. http://example.com/passlogic/ デフォルト値は指定なし (空文字))

※利用可能文字種、文字列長については、「3. 利用可能文字種、文字列長について」を参照してください。

normal	ブラウザの制限も IP アドレスの制限もありません。デバイスレベル 10。
hyper	ユーザが初期登録した時のブラウザ専用です。デバイスレベル 50。
slso	携帯電話用のデバイスタイプです。デバイスレベル 90。

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022101</code>
  <comment>デバイス ID を新規作成しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>795199279235</accnum>
    <acomment/>
    <acookieexpiry/>
    <aemail/>
    <aexpiry>20100620</aexpiry>
```

```
<alevel>50</alevel>
<aname/>
<atype>hyper</atype>
<entrymail>デバイス I D を新規に追加いたしました。このデバイス I D は、初回登録時
に使用するブラウザ専用です。他のブラウザでこのデバイス I D を使うことはできません。2006
年 08 月 24 日 14 時 43 分までに「登録したいブラウザ」から http://<SERVER
NAME>/<PATH>/passlogic/fa/entry.cgi?key=7485-9719-5597-1212-1271-4499 へアクセスし、
「ショートカット」または「ブックマーク」を作成してください。
</entrymail>
<entryserver>http://<SERVER NAME>/<PATH></entryserver>
<entryurl>http://<SERVER
NAME>/<PATH>/passlogic/fa/entry.cgi?key=7485-9719-5597-1212-1271-4499</entryurl>
<entrykey>7485-9719-5597-1212-1271-4499</entrykey>
<uid>passlogy_hanako</uid>
</data>
<pid/>
<ptime>20060817144314</ptime>
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022111</code>
  <comment>ユーザが存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817145057</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

※<entrymail></entrymail>の項目は、ユーザに通知する初期登録用のメールの文章です。

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21022101	OK	デバイス I D を新規作成しました。
21022111	NG	ユーザが存在しません。
21022112	NG	不正な設定です。
21022115	NG	すでにそのデバイス I D が存在します。
21022199	NG	システムエラーです。

5.10. デバイス ID 削除

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	accdel
accnum	パスロジックデバイス ID
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022201</code>
  <comment>デバイス I D を削除しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>795199279235</accnum>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817150328</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022211</code>
  <comment>すでにデバイス I Dが存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>795199279235</accnum>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817150541</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21022201	OK	デバイス I Dを削除しました。
21022211	NG	すでにデバイス I Dが存在しません。
21022212	NG	ユーザが存在しません。
21022213	NG	指定されたユーザは、指定されたデバイス I Dを持っていません。
21022299	NG	システムエラーです。

5.11. デバイス ID 情報取得

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	accread
accnum	パスロジックデバイス ID
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022301</code>
  <comment>情報取得に成功しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>282683749685</accnum>
    <acomment/>
    <acookieexpiry/>
    <aemail/>
    <aexpiry>20100620</aexpiry>
    <alevel>50</alevel>
    <aname/>
    <atype>hyper</atype>
    <entryserver>SERVER_NAME</entryserver>
    <entrykey>2557-4008-7337-1015-4066-8819</entrykey>
    <entryurl>http://<SERVER
NAME>/<PATH>/passlogic/fa/entry.cgi?key=2557-4008-7337-1015-4066-8819</entryurl>
    <entrymail>
デバイス I D を新規に追加いたしました。
このデバイス I D は、初回登録時に使用するブラウザ専用です。
他のブラウザでこのデバイス I D を使うことはできません。
2006 年 08 月 24 日 14 時 43 分までに「登録したいブラウザ」から
http://<SERVERNAME>/<PATH>/passlogic/fa/entry.cgi?key=2557-4008-7337-
1015-4066-8819
へアクセスし、「ショートカット」または「ブックマーク」を作成してください。
    </entrymail>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817151437</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
=失敗例=

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
```



```
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022311</code>
  <comment>デバイス I D が存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>28268374968</accnum>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817154937</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

※読み出したデバイス I D の情報が<data></data>の中に表示されます。

※<entrymail></entrymail>の項目は、ユーザに通知する初期登録用のメールの文章です。
<entrykey>, <entrymail>, <entryserver>, <entryurl>の4項目は、デバイス I D を新規追加してからユーザがデバイスアクティベートするまでの間だけ表示されます。ユーザがデバイスアクティベートした後は登録キーは無効になり、この項目は表示されません。

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21022301	OK	情報取得に成功しました。
21022311	NG	デバイス I D が存在しません。
21022313	NG	指定されたユーザは、指定されたデバイス I D を持っていません。
21022314	NG	不正な設定です。
21022399	NG	システムエラーです。

5.12. デバイス情報書き込み

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	accwrite
accnum	パスロジックデバイス ID
uid	パスロジックユーザ ID

suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用
acookieexpiry	デバイスタイプが hyper のときの、乱数取得用クッキーの有効期限 (デフォルト値は指定なし (空文字))
aemail	デバイス I Dのメールアドレス (デフォルト値は指定なし (空文字))
aexpiry	デバイス I Dの有効期限 (デフォルト値は指定なし (空文字))
alevel	デバイスのレベル (0 以上 99 以下の整数。デフォルト値はデバイスタイプによる。)
aname	デバイス I Dの名前 (デフォルト値は指定なし (空文字))
acomment	コメント欄 (デフォルト値は指定なし (空文字))
aentryserver	ユーザがアクセスするサーバー (ex. http://example.com/passlogic/ デフォルト値は指定なし (空文字))

※デバイスタイプは変更できません。デバイスタイプを変更するには、一度デバイス I Dを削除してから、再び同じデバイス I Dと変更したいデバイスタイプを指定して新規追加してください。

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022401</code>
  <comment>書き込みを完了しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>282683749685</accnum>
    <acomment/>
    <acookieexpiry/>
    <aemail>passlogy_hanako@passlogy.com</aemail>
    <aexpiry>20100620</aexpiry>
    <alevel>10</alevel>
    <aname>東京本社パソコン</aname>
    <atype>normal</atype>
    <uid>passlogy_hanako</uid>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817160435</ptime>
```

```
<status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

= 失敗例 =

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022411</code>
  <comment>デバイス I D が存在しません。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>28268374968</accnum>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817161003</ptime>
  <status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

※<entrymail></entrymail>の項目は、ユーザに通知する初期登録用のメールの文章です。

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21022401	OK	書き込みを完了しました。
21022411	NG	デバイス I D が存在しません。
21022412	NG	ユーザが存在しません。
21022413	NG	指定されたユーザは、指定されたデバイス I D を持っていません。
21022414	NG	不正な設定です。
21022499	NG	システムエラーです。

5.13. 登録用メール送信

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	accmail
------	---------

accnum	パスロジックデバイス ID
uid	パスロジックユーザ ID
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用
subject	ユーザに送信するメール件名を都度指定できます。指定しない場合は PassLogic 設定の件名を使用します。 *UTF-8 で URL エンコードされていること
format	ユーザに送信するメール本文の内容(フォーマット)を都度指定できます。指定しない場合は PassLogic 設定のフォーマットを使用します。 *UTF-8 で URL エンコードされていること

※メールの送信先は、**aemail** に設定されたメールアドレスです。**aemail** に値が設定されていないときは、**uemail** に設定されたメールアドレスに送信されます。

※「ユーザへの送信メールフォーマット」については、「インストール・運用管理ガイド」のユーザ通知設定の項をご参照ください。

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022501</code>
  <comment>メールを送信しました。</comment>
  <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
  <data>
    <accnum>282683749685</accnum>
  </data>
  <pid/>
  <ptime>20060817164258</ptime>
  <status>OK</status>
</PassLogic:Response>
```

=失敗例=

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
  <code>21022511</code>
  <comment>デバイス ID が存在しません。</comment>
```

```
<copyright>Secured by PassLogic</copyright>
<data>
  <accnum>28268374968</accnum>
</data>
<pid/>
<ptime>20060817164249</ptime>
<status>NG</status>
</PassLogic:Response>
```

ステータスコード(<code>)とステータス(<status>)とコメント(<comment>)

<code>	<status>	<comment>
21022501	OK	メールを送信しました。
21022511	NG	デバイス I D が存在しません。
21022513	NG	指定されたユーザは、指定されたデバイス I D を持っていない。
21022514	NG	ユーザのメールアドレスが登録されていません。
21022599	NG	メールが送信できませんでした。

5.14. PassLogic 設定読み込み

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	getconfig
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PassLogic>
  <Version>3.0.x</Version>
  <core>
    <configType>file</configType>
    <passlogicConfig>
      <errorLimit>5</errorLimit>
```

```
<minPinLength>0</minPinLength>

<maxPinLength>6</maxPinLength>
<minOtpLength>6</minOtpLength>
<maxOtpLength>12</maxOtpLength>
<RandValidPeriod>60</RandValidPeriod>
<oldPassCount>12</oldPassCount>
<defaultPattern>1,2,3,4,17,18</defaultPattern>

<mailHost>localhost</mailHost>
<mailFrom>example@example.com</mailFrom>
<mailSubject>PassLogic 利用開始のお知らせ</mailSubject>
<mailBody>
<!--%BROWSERTOKEN_URL%-->

</mailBody>

<mailUrl>http://www.example.com/passlogic</mailUrl>

<accexptime>604800</accexptime>
<randomOtpLength>6</randomOtpLength>
<passchgTimeup>90</passchgTimeup>
<isPasschgTimeup>Y</isPasschgTimeup>
<untilUnlock>1800</untilUnlock>
<isUntilUnlock />

<forbiddenPatterns>1,6,11,16,29,26,23,20</forbiddenPatterns>
<forbiddenPatterns>1,6,11,16,29,26,23</forbiddenPatterns>
<userSelfPasswd>true</userSelfPasswd>
<defAccType>normal</defAccType>
<defAccLevel>10</defAccLevel>
<oldPassCountMax>64</oldPassCountMax>

<keyreqDummy />
<ProxyFQDN>localhost</ProxyFQDN>
<ProxyPath>/passlogic</ProxyPath>
<Protocol>http</Protocol>
```

```
<logging>

    <handler>file</handler>

    <loglevel>debug</loglevel>

</logging>

</passlogicConfig>

</core>

<admin>

    <listsLimit>100</listsLimit>

    <configType>file</configType>

    <ldap>

        <count>1</count>

        <ldapConfig>

            <ldapType>ActiveDirectory</ldapType>

            <ldapHostname>ldap.passlogy.com</ldapHostname>

            <ldapPort>389</ldapPort>

            <ldapBinddn>cn=administrator,cn=Users,dc=win2003,dc=passlogy,dc=com</ldapBinddn>

            <ldapBindpasswd>password</ldapBindpasswd>

            <ldapObject>cn=Users,dc=win2003,dc=passlogy,dc=com</ldapObject>

            <ldapFilter>(&!(objectClass=person)(memberOf=CN=Remote
Desktop Users,CN=Builtin,DC=win2003,DC=passlogy,DC=com))</ldapFilter>

            <ldapUidMappingAttr>samaccountname</ldapUidMappingAttr>

            <ldapMailMappingAttr>mail</ldapMailMappingAttr>

            <ldapUserDeviceType>normal</ldapUserDeviceType>

            <ldapAddactMail>>false</ldapAddactMail>

            <ldapRunMode />

            <ldapRotateType />

            <ldapRotate_hour />

            <ldapRotate_minute />

            <ldapRotate_Rminute />

            <ldapPasslogicgina>>false</ldapPasslogicgina>
```

```
        </ldapConfig>

    </ldap>

    <RandomNofixLength>6</RandomNofixLength>

</admin>

</PassLogic>
```

5.15. PassLogic 設定書き込み

URL : http://<SERVER_NAME>/passlogic/adm/api.cgi

送信パラメータ

mode	setconfig
suffix	サフィックス(ドメイン名)マルチテナントモードのときのみ使用

受信テキスト

成功例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PassLogic:Response xmlns:PassLogic="http://www.passlogy.com/xmlns/PassLogic">
    <copyright>Secured by PassLogic</copyright>
    <ptime>20090928170110</ptime>
    <data />
    <code>21050101</code>
    <loglevel>info</loglevel>
    <status>OK</status>

    <comment>PassLogic 設定を更新しました。</comment>
    <pid />
</PassLogic:Response>
```


6. パスロジ

PassLogic 認証サーバソフトウェアに関するご質問、ご意見等は下記までお寄せください。

(電話) 平日 10:00～17:00 (電子メール、FAX) 24 時間受付

※一次回答は 2 営業日以内での対応とさせていただきます。

パスロジ株式会社

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-7 福祿ビル 4F

TEL: 03-5283-2263 FAX: 03-5283-2264

E-mail: support@passlogy.com

インターネット受付

<http://www.passlogy.com/company/inquiry.html>